

千川中学校だより

7月号 平成28年7月11日(月)

学校と家庭の連携

千川中学校長 紅床 直也

今月の上旬、本校の生徒は外部講師の講演(出前授業)を聞く機会が2回ありました。

4日の月曜日には、読売新聞東京本社・教育ネットワーク事務局より、吉山 隆晴 様(元政治部記者)をお迎えして、主権者教育の一環として、選挙の基本ルール・選挙権の大切さ・選挙のしくみや具体的な投票のしかた等についてのお話をさせていただきました。折しも選挙権が18歳以上となって初めての国政選挙・首長選挙を控え、タイムリーな取り組みとなりました。

6日の水曜日には、「スポーツの価値を知って学校生活に活かす」と題して、スポーツドクターの辻 秀一 様に講演をしていただきました。本年度より始まった「オリンピック・パラリンピック教育」の本校での取り組みの端緒とすべく、事前に講演内容も打ち合わせをさせていただいた上で、途中に演習等も入れていただき、本校が目指すアクティブラーニングを具現化した内容となりました。辻先生からは学校と生徒の皆さんへ1枚ずつの色紙を書いていただきました。「スポーツは文化!」「元気・感動・仲間・成長、ご機嫌人生!」と書かれた色紙は職員室前に飾っています。全人教育・全人学習の精神を振り返る象徴の言葉としたいと思います。

さて、21日(木)からは、約40日間の長い夏休みとなります。夏休み期間中は、各学年とも宿題・教育相談や補習教室、学校全体として水泳教室・部活動もあり、お子さまのフォローアップに精一杯、努めさせていただきますが、基本的にはご家庭にお返しして、学校ではできない体験をする中で大きな成長を遂げる期間にさせていただきたいと考えます。

一方で、せっかくの長期休業も、自分の生活を律することができないと、無駄に過ごすどころか、これを境にして、悪い習慣から抜けられなくなることもなりかねません。夏休みの過ごし方に関しては、学校としても十分に指導をいたしますが、是非、ご家庭でも、広い意味での危機管理について、話し合っていただきたいと思います。

今月号では、昨今の生活指導上の課題の一つであるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)について、保護者の皆さまと考えを共有したいと考えます。本校では生徒自身が考えた独自のSNSルール「ひじき運動 5項目」を展開していますが、その2番目に「家族とSNSの使い方について話し合う」を掲げています。内閣府の「青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、携帯電話のうちスマートフォン(インターネットに接続できる携帯端末)を持つ中学生の割合が、平成23年度調べで5.4%だったものが、平成24年度には25.3%と激増しています。つまり、学校にとっても家庭にとっても、新しく浮上した喫緊の、そして深刻な課題です。以下、「政府広報オンライン」から、「家庭のルールの具体例」を掲載します。

- 1 困ったときにはすぐに相談する。
- 2 利用する時間を決める。
- 3 利用する場所を決める。
- 4 暗証番号は親が管理する。
- 5 サイトに登録する場合は事前に親に相談する。
- 6 お金がかかる場合は事前に相談する。
- 7 名前や顔写真、学校名などは書き込まない。
- 8 知らない人のメールに返信しない。
- 9 他人の悪口を書き込まない。
- 10 月に一度、利用状況を保護者と確認する。
- 11 ルールを破ったら、一時利用禁止とする。

中学生の発達段階ということもあり、お子さんと話し合っただけのルール作りは大変な作業だとは思いますが、安易に友達の顔写真を掲載したことで、不特定多数に閲覧されたあげく、犯罪に巻き込まれた例さえあります。学校と家庭が今まで以上に協力して、大切な子ども達が被害者(時には加害者)になってしまふことを防ぎたいと考えます。

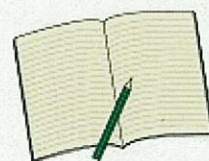
「豊島区基礎的・基本的な内容の定着に関する調査」の結果から

4月に全学年を対象に行った「豊島区基礎的・基本的な内容の定着に関する調査」の結果が届きました。今回の調査結果からわかった千川中生の良かったところをお知らせします。

まず、2年生の国語では、「書く能力」が5ポイント、「読む能力」が4ポイント、数学の「数学的な見方や考え方」では2年生が4.8ポイント、「数学的な技能」では2年生で3.5ポイント、3年生で2ポイント、「数量や図形などについての知識・理解」では2年生が6ポイント、理科では「観察・実験の技能」が2年生で2.4ポイント、全国の得点率を上回りました。また、英語の「外国語表現の能力」では2年生が10.5ポイント、3年生が5.2ポイント、上回りました。

本校は、数学科では習熟度別少人数授業、理科ではティームティーチング(TT)による授業を行っています。さらに、今年度から英語科でも少人数授業を実施しています。この調査結果をもとに「授業改善推進プラン」を作成し、引き続き、きめ細かな指導により、学力の確かな定着を目指していきます。

なお、本校は平成28年度・29年度の2年間、区の研究推進校を受けています。研究主題は「自ら学び、課題を解決する資質の育成」です。主体的な学習を通して、深い理解を促す学習指導を全教科で共通実践するとともに、授業研究を進めていきます。



夏季休業期間の取り組み

◆教育相談 7/21(木)~7/29(金)

保護者の方とお子様の1学期の学習・生活面を振り返り、今後の学校生活に活かしていくことができるように面談を実施いたします。健康診断の結果をこの時にお返しします。

◆水泳教室 7/21(木)~7/26(火)

参加をする時は、当日の体温を測るなど、健康チェックをしっかりと行ってください。

前半：9：20～10：20・後半：10：50～11：50（男女入れ替え制）

◆学習教室 7/25(月)~7/29(金)

夏休みの宿題や自分の勉強を行い、弱点を克服するための学習教室です。大学生が指導の支援を行います。1校時：9：00～9：50・2校時：10：00～10：50

地震災害時の対応について

地震災害が起こった場合の対応については、本校では以下の内容を原則としています。細かな部分についてはその状況に応じたものにならざるを得ませんので、原則をご家庭と共通理解しておくこととしています。登下校時に地震が起こって判断に迷った場合や自宅に家の人がいなくて不安を感じたときは学校に向かうようにしてください。

地震災害時の対応（千川中学校）

○震度5弱まで（東日本大震災の時と同程度まで）

周辺の安全を確認後、一部の遠距離通学者以外は原則として帰宅させます。ただし、帰宅しても誰もいない生徒は事前に把握し、地震の規模によっては学校に残れる体制をとります。

○震度5強以上 保護者と連絡が取れるまで、学校に留め置きます。

生徒の活躍

○第65回「社会を明るくする運動」作文 推進委員長賞 ****（2年）
優秀賞 ****（1年）

○豊島区中学校夏季大会

・男子バスケットボール部 第2位 優秀選手賞 ****（3年）
・女子バレーボール部 第3位 優秀選手賞 ****（3年）
・卓球部 団体 第3位、個人 ****（3年）・****（2年） ベスト16
・バドミントン部 女子団体 第2位（ブロック大会進出）
女子個人 シングルス ****（3年） 第3位（ブロック大会進出）
ダブルス ****・****（3年） 第5位（ブロック大会進出）

○中学校PTA連合親子ソフトバレーボール大会に9名の生徒が参加し、保護者とともに試合に参加し、活躍しました。

○第27回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 佳作 ****・****・****（2年）